

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

愛知県 鬼北町

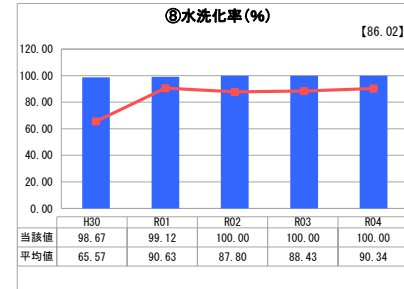
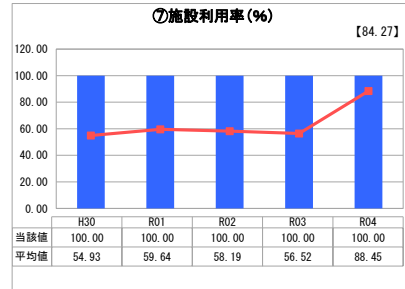
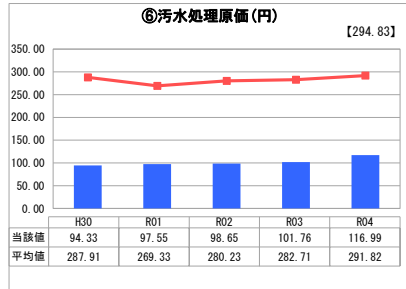
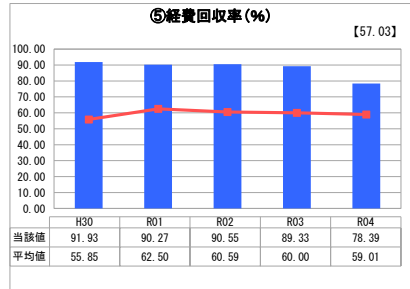
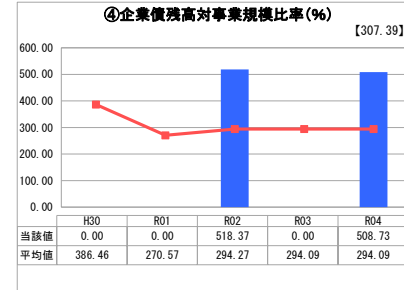
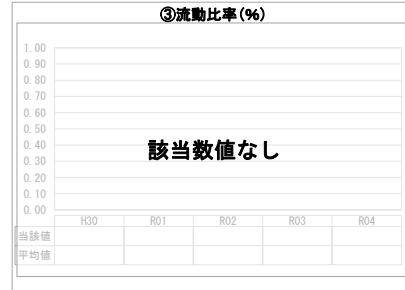
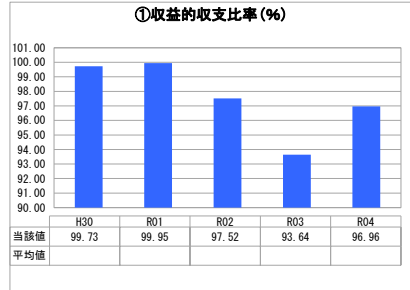
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	15.30	100.00	3,960

人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
9,563	241.88	39.54
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
1,449	0.27	5,366.67

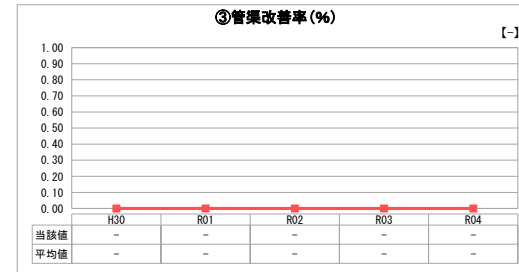
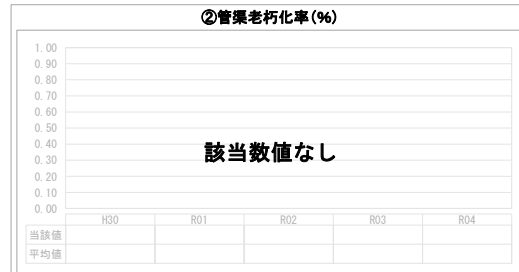
**グラフ凡例**

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

事業開始当初に比べると設置基数の増加により処理区域人口も増加傾向にある。  
年間の設置基数は事業開始当初に比べると減少傾向にあることから新たな起債の借入額は減少し、企業債残高も今後は減少していくと予想される。  
例年、浄化槽の基数が増え、使用料収入は増加しているものの、その増加率を上回る汚水処理費の増加により、経費回収率は悪化している。汚水処理費費に関しては、これからは浄化槽の基数が増えることや老朽化が進んでいくことまた、物価高騰により、この先さらに増えていくことが見込まれる。

### 2. 老朽化の状況について

平成16年度より事業開始し、現在までに老朽化による浄化槽本体の破損が見られるものが発生してきている。  
一般的に合併浄化槽の耐用年数は28年以上とされているが、経年劣化より槽内の部品等の破損がみられるものも発生している。部分的な修繕により不具合は解消されており、浄化槽本体を交換するなどの事例は発生していない。また、本体以外のフロアなどの経常的な修繕に加え、設置後10年を経過した浄化槽が多くなり、高額な修繕（フロアの交換、放流ポンプの交換等）が発生している。設置基数の増加に伴い、今後も修繕費用が増加すると予想される。  
特に今年度はフロア、ポンプの交換件数が例年と比較して著しく増加した。  
浄化槽の適切な維持管理を行い、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に努めたい。

### 全体総括

維持管理のための事業収支は使用料によって賄われるのが望ましいが、一般会計からの繰入れにより補填されているのが現状である。  
しかしながら、住民の快適な生活環境を提供していくために今後も設備投資を行っていく必要があるため、維持管理費用や修繕費用は増加傾向にあると考えられる。  
現状の料金体系では今後も一般会計からの繰り入れで賄うことが予想されるため、使用料の見直しも検討している。  
鬼北町下水道事業会計は翌年度から公営企業会計に移行するため、社会情勢を考慮した経営分析を行い、料金改定の必要があるかを精査するとともに、浄化槽の適正な維持管理を行う。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。